

光の子だより

令和6年2月臨時号
千葉市立作新小学校
校長 遊間 京子

学校教育目標:一人一人のちがいを大切に「かしこく あたたく たくましい」子どもの育成

☆期待する子ども像☆

自ら学び、よく考える「かしこい」子ども
思いやりのある心豊かな「あたたかい」子ども
丈夫な心と体を持つ「たくましい」子ども

保護者の皆さまには2月2日(金)に行われた、今年度の最終となる学習参観・学級懇談会にご参加いただきありがとうございました。子どもが真剣に学習に向かう姿から成長した様子を実感してもらえたら幸いです。引き続きご家庭での励ましの言葉をお願いします。今回、学級懇談会への参加がやや少ない状況が見られました。多忙な中でお時間を頂きましたが、今後も保護者の皆さまと担任、学校が同じ方向で歩み、安心して子どもを育むように努めて参ります。

さて、12月に実施しました「学校生活についてのアンケート」の結果を報告致します。対象は児童・保護者・教職員の3者で、各々の結果から令和6年度の教育活動に生かしていきたいと思えます。

【アンケート結果より】

児童のアンケートより「交通安全・遊び方」「友達を大切にする」「安全・安心な環境」の項目が高い評価を示しています。安全に関する意識が高まり、学校での安心感が得られていることが伺えます。また、友達との関わりを良好に築き、いじめのない温かい交流を大事にしていることが伺えます。

保護者のアンケートより「友達を大切にする」「交通安全・遊び方」「善悪の判断」の項目が高い評価で、ご家庭でもいじめ防止や規範意識を高めてもらっている結果だと思えます。上記の結果に加えて教職員は「進んで挨拶」「手洗い歯磨き」が高い意識です。

三者共に平均が高い項目は、「交通安全・遊び方」「友達を大切にする」「安全・安心な環境」となります。加えて教職員の意識が大変高い項目が「進んで挨拶」「善悪の判断」「手洗い歯磨き」でした。学校では安全・安心、命と人権を守るように教職員が日頃から意識を高くもって働きかけをしています。最終的に子どもが自分で考え、判断して行動できるようにしたいと思えます。

三者共に平均が低い項目は、「読書活動の充実」「整理整頓」「家庭学習の定着化」で、この結果が昨年と同様であることから、本校の大きな課題となる3つの項目です。前者2項目は教職員よりも保護者は大変低い評価であり、今後も家庭と学校が協力と連携を図り強化していかねばなりません。読書習慣について、学校では図書委員会の活動や、教職員による読み聞かせを行っていますが、読書習慣が身につくまでには至っていないと思えます。特に保護者の評価が低いので、家庭で本に親しみ一緒に読む時間を作り、読書習慣を充実させたいです。また整理整頓については、身の回りの整頓のみならず周囲の環境や状況を確認していき、自分のやるべきことの一つ一つを疎かにしないことで、基本的な生活習慣を確立させて勉強の成果にも繋がることは間違いないと思えます。家庭で夜寝る前には必ず次の日の準備を行い、授業中に困らないようにしてほしいです。さらに、家庭学習の定着化については、教職員は宿題などを充実させて大幅な上昇となったかもしれませんが、基礎学力の向上に向けてご家庭での学習も子どもと共に確認して、今後も家庭学習カードや音読カードの活用をお願いしています。

保護者の評価が児童よりも低い項目は、「整理整頓」「読書活動の充実」「粘り強い取組」で、子どもの意識とは反対に、保護者の期待にはまだ到達していないことが伺えます。特に、粘り強さについては、困難に直面した際に、投げ出さずにしなやかな強さで乗り越えてほしいと願います。

多くの保護者の皆さまから、本校の教育活動にご理解をいただき感謝申し上げます。今後も子どもたちのよりよい成長のために、教職員一同全力を尽くして参ります。子どもたちが安心して通える学校づくりの推進と保護者・地域・学校が一体となって未来の社会の担い手である子どもたちを育みます。